

## 第4回茅ヶ崎海岸グランドプランまちづくり協議会 概要

日 時：平成19年2月24日（土）午後3時00分～5時00分

場 所：茅ヶ崎市役所分庁舎 コミュニティホール第1

参加者：37名

### 議題

#### 1. 茅ヶ崎海岸グランドプラン（案）（行政案）について

- 今回の行政案は、推進会議から提示された答申を受け、また、関係者との協議を踏まえ、行政内部で検討し（案）を作成した。
- 推進会議から提示された将来像を行政計画に位置づけることができるか否か行政内部で検討したが、地権者協議や公園のレイアウト計画をこれから行っていくことから、行政案では将来像を参考イメージとして取り扱っている。
- また、本グランドプランは現在改訂中の緑のマスタープランや都市マスタープランへ反映すべき計画と考えている。

#### 2. 意見交換

##### ○今後の運営の母体について

- ・ 大きなプロジェクトであることから、管理、統括できる母体が必要。
- ・ 今後の海岸づくりは、茅ヶ崎市とコンサルタントは交えないで、グランドプラン推進会議が主体となって進めるべき。
- ・ 企画調整課は当面1年と言っているが最初から最後まで運営する必要がある。  
⇒庁内で本プランを継続していくセクションをはっきりさせるため、当面1年間は企画調整課が中心になり進めていく。しかるべきセクションができた段階でそこに引き継いでもらう。

##### ○茅ヶ崎海岸グランドプラン（行政計画(案)）について

- ・ 茅ヶ崎海岸グランドプランを環境基本計画、総合計画、都市計画等との関連の中で行政計画としてどのように位置づけるのか。また、茅ヶ崎海岸グランドプランを上位計画に位置づけるとあるが、一地域の計画をどのように位置づけるのか。  
⇒本プランの策定後は、各行政計画との調整を図り、諸計画の見直し時等にその内容を反映していく。
- ・ 基金の設立は大変良いことと思う。
- ・ 美しい海岸をつくって欲しい。また、海岸の侵食問題については全力を上げて取り組んで欲しい。
- ・ これから具体的なプランを作っていくが大丈夫なのか。調整している間に利害関係

等が発生していくことも考えられる。

- ・ 茅ヶ崎海岸グランドプランの位置づけは磐石なものである。非常に重いのだということ認識すべき。妥協があってはだめ。

### ○海岸の整備等について

- ・ グローバルな時代。観光をメインにするのか自然をメインにするのか。  
⇒推進会議では、観光を優先しない市民のくつろげる場所にするという方向性が出されている。自然的に保全する。
- ・ 電線の地中化とあるが、自然環境に戻すという観点からはおかしい。恒久的なものを置くのはよくない。  
⇒電柱が無い方が、広場として使えると考える。  
⇒意見については、持ち帰って担当課を含め議論する。
- ・ 海岸のバリアフリー化とっているが、新たな構造物を海岸に整備するのはおかしい。  
⇒海岸のバリアフリー化については、今後1年かけて議論していく。
- ・ 海岸を保全とレクリエーションの2つのエリアに分けているが、どうか。  
⇒良好な自然環境ができることによって人の和む場ができる。  
⇒公園内のレイアウトについても、これから検討していく。

### ○茅ヶ崎漁港について

- ・ 茅ヶ崎漁港は、海岸の最もよい場所に位置している。
- ・ 自然回復といいながら茅ヶ崎漁港を残しているがいかがなものか。
- ・ 漁港施設については、これを邪魔者扱いにするのではなく、活かす方策を考えるべき。  
⇒漁港の問題についてはいろいろ議論があった。昔から漁村として利用しており、漁港として整備してきた。漁港を無くすのは難しい。  
⇒自然環境に配慮した施設となるよう形態を変えていく必要もある。  
⇒漁港施設については、今後漁港関係者と協議を行っていく。
- ・ 漁港の堤防はこのままでよいのか。  
⇒堤防については、このままでよいか議論があった。

### ○各地区の問題

(A 地区)

- ・ A 地区地権者は、これまで2年間茅ヶ崎市（海浜課）と話をできており、地権者も署名している。今後、これまでの取り決めに変更は無いか確認したい。  
⇒払い下げの手続きを変更することは無い。

⇒しかし、未占有の土地については競売という可能性もあるため、茅ヶ崎海岸グランドプランではこれらを公共的な土地として確保していくという方針を出している。

⇒地権者においても今後転売の計画がある場合は、民間に話をする前に、茅ヶ崎市や海岸づくり推進機構に事前協議ができるなどの仕組みを作っていきたい。

⇒また、A地区については建物の色彩や形態など統一的なものにしていきたいと考えている。デザインの基準を決める。

- ・この茅ヶ崎海岸グランドプランを検討することとなったそもそもの原因は、A地区の払い下げ、第三者への転売があり、茅ヶ崎市がこれを阻止できなかったことにあった。

⇒A地区の転売については、転売前の事前協議ができないか茅ヶ崎海岸グランドプランで位置づけている。

- ・A地区の払い下げをもっと早くすることはできないのか。

⇒既に決定している予定を早めることはできない。

- ・払い下げを議論するだけでなく、借りる方法もあるのでは。
- ・そもそも漁港があるから払い下げの必要が生じている。

⇒茅ヶ崎海岸グランドプランと払い下げの問題は別。払い下げについては、担当課に話をする。

#### (B地区)

- ・本プランでは、B地区の高さ制限について決まっていない。このことについて、どう思うか。

⇒高さ制限は重要なことだと認識している。高さ制限を決めたいが、どれくらいの高さが適切かそこまで検討できなかった。しかし、本プランでは目指すべき方向性として高さ制限について触れている。

#### (C地区)

- ・C地区に民間の建築物が建っている。民々で話（開発）が進んでしまっている状況にある。

⇒C地区については、地権者に対し個別に話をしている。また、C地区は都市計画公園区域でもあり、土地利用についても今後どうするか4月以降検討していく。

- ・中海岸プールの位置づけは今後どうなるのか。将来どうするかについて検討すべき。

⇒貯留槽をプール付近に設置する計画がある。(H19年度)

⇒現在も、かなりの利用者がいるため、今後においても継続していくケースは有り得るし、プランの中ではサイクリング拠点としての位置づけも考えている。詳細については、公共施設整備再編計画の中で再検討する。

### ○海岸の侵食問題について

- ・ 海岸侵食に対して砂を入れているがいつまでもつのか。また、海岸侵食の予測はどうみているのか。
  - ・ 侵食の問題が解決されない中で公園ができるのか。しっかりしたデータを踏まえ、実現性のあるプランにする必要がある。
- ⇒海岸侵食対策については、市だけではなく、国県と連携しながら今後においても取り組んでいく。また、海岸侵食の予測については、今後調査したい。

### ○折原代表より

- ・ 推進会議から出された「前文」が行政計画では巻末にきている。体裁としてトップ（市長）の挨拶を先に入れてその次に推進会議の前文を入れるべき。
- ・ 今回の行政計画（案）に対し、推進会議のメンバーはどう感じているのか、いろいろ意見はあると思う。推進会議が提言した内容と行政計画の違いについては、パブコメ意見として提示する。